

被災生活

介護職員 加藤 裕子

3月11日、M9.0の地震に見舞われ、電気・水道が止まり、「みずばしょうの里」ではオール電化ため、煮炊きも出来ませんでした。職員も皆利用者様の事を心配し、交替でホームに泊まりながら、携帯用のガスコンロを使用し、石油ストーブで暖を取り、ロウソクを灯し、ラジオを聞きながら余震におびえ生活しました。そんな中、利用者様は「大丈夫、戦後の思いとくらべたらどうってことないよ！ごはんもみそがあれば食べれっから！！」と笑顔で語ってくれました。とても不安だった心境はなくなり「大丈夫！！がんばれる！！」と強く思いました。その後、水も出始め、電気も復旧し、食材も少しずつ入荷してきました。今後も利用者様に勇気付けていただきながら頑張っていこうと思います。

大震災にあたり

介護支援専門員 沼下 洋子

この度の大震災に際し、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

天災とは言え、こんなにも大きな被害を受けてしまったことに苦しい思いで精一杯です。

当ホームにおいては、思ったほど被害が少なかったことにはビックリです。

しかし、いまだ毎日のようにくり返し来る余震に不安はあります。不安な余震の中で、利用者様一人1人が元気いっぱい笑顔で生活している姿には安堵されるものがあります。

その度、地域の方々やボランティアの皆様には、食材・食料・灯油・その他もろもろ大変ありがとうございました。

この被災から一日でも早く普通の生活に戻れる事を願っています。

【3月の行事】

3月3日 ひなまつり

あくしゅ塾様のボランティアが来てくださり、歌や踊りを披露してくださいました。(写真)

3月4日 避難訓練

中新田消防署の方にご指導頂きながら行いました。

3月31日 利用者様のお誕生会

ケーキを囲みお祝いの歌を歌ってお祝いしました。



【4月の行事】

4月17日 こいのぼり作成

こいのぼりを掲示していただきます。

4月26日 お花見

さわぎくら公園に出かけます。

4月29日 「火伏の虎舞い」

初牛祭りの虎舞いがホームに来てくださいますよ～。

